

2012 年秋、参加してみたい魅力的なイベントをピックアップ。そろそろ秋の計画を立てませんか。

## 中日東海大会

2012 年 10 月 14 日(日) 愛知県岡崎市

2005 年の世界選手権ロング競技を始め、数々のビッグイベントが開催された名トレインで開催される。「ロングはオリエンテーリングの醍醐味!」という挑戦的なキャッチで参加者を集めている。

暑い時期も終わり、スポーツに最適な秋のシーズンは、快適な三河の森から始めてはどうだろう。

大会前夜には今年に行われた各種目世界選手権大会の報告会が開催される。多くのメンバーと交流できそうなものこの大会の魅力だ。

## 秋田県大会

2012 年 10 月 21 日(日) 秋田県秋田市

2001 年夏にワールドゲームズが秋田で開催され、オリエンテーリング種目で使われたトレインである。秋田市の北側に広がる広大な砂防林は、素晴らしいフィールドだ。

あれから 11 年。暑かったワールドゲームズを思い出しつつ、あの素晴らしいトレインをもう一度走ってみたいと思ってしまう。今年の秋田県大会でその夢が叶う。

## 京大京女大会

2012 年 10 月 21 日(日) 滋賀県甲賀市

こちらも素晴らしいトレインの地図が久しぶりにリメイクされる。1993 年春に開催されたインカレで作成された 0-map が「あいの土山」。素晴らしいトレインではあったが永らく地図がリメイクされていなかった。京大京女メンバーの意欲的な活動に注目だ。

20 年前とは違って、いまは新名神道路が開通し、車でのアクセスは抜群に良くなった。会場は土山サービスエリアからでも歩いてゆける距離にある。

## 全日本スプリント

2012 年 11 月 11 日(日)

三重県四日市南部丘陵公園

今回で 5 回目となる全日本スプリント大会。今年は三重県で開催される。

学生スプリントの部も復活し、多くの参加者で賑わいそうだ。開催地の四日市は三重県の中でも名古屋に近く、その距離わずかに 30km。近鉄や JR と高速道路に囲まれた交通至便な場所である。

トレインはビオトープなどもある郊外型公園。自然の森と人工的な公園部分とのコンビネーションをナビゲーションする楽しみが味わえそうだ。環境と利用者に配慮した大会となるように心がけて参加したい。

この大会の時期は、会場から 20km ほど西の鈴鹿山系にある御在所岳ロープウェイが紅葉の見ごろを迎えている頃だろう。

## 全日本リレー大会

2012 年 11 月 24 日(土) 長崎県大村市

「ユニバーサル・スポーツフェスタ in 大村」と名打たれた一連の行事は、都道府県対抗戦である全日本リレー大会を核に、全日本トレイル 0、スプリント 0、全日本ミドル大会と欲張ったイベントが詰め込まれている。全日本の冠がつくイベントが 3 日間連続で開催されることも特徴的だ。

長崎空港のすぐ横に位置する大村市は、大都市圏からのアクセスがバツグン。JR や高速道路も通っている。これを機会に九州へ、長崎へと足を向けてみたくなるイベントである。

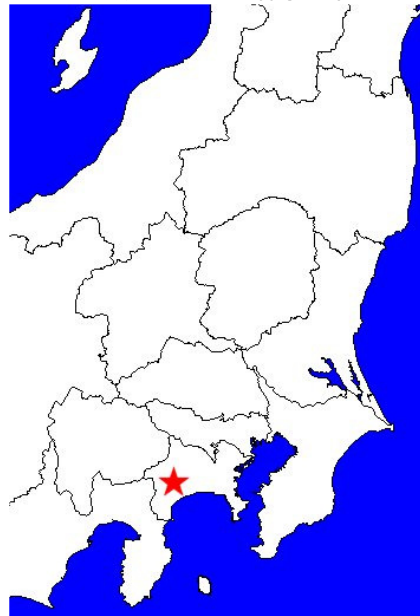
周囲を陸地に囲まれ、殆ど湖とも言える穏やかな大村湾を目の前に競技三昧の至福の時が過ごせるだろう。時間があれば、ハウステンボスや竜馬の活躍した長崎へ足を伸ばすのも楽しそうだ。

大村市にある長崎空港は 1975 年に「箕島(みしま)」に建設された世界初の海上空港である。

11 月 23 日(祝)	全日本トレイル 0 大会 スプリント大会
11 月 24 日(土)	全日本リレー大会
11 月 25 日(日)	全日本ミドル大会

## インカレロング・東日本大会

2012 年 12 月 2 日(日) 神奈川県



日本学生オリエンテーリング連盟の主催する、学生選手権大会ロングディスタンス競技部門・・・いわゆるインカレロング大会は、単独開催が難しい状況にある。そこで毎年、主管団体や共同開催相手を探し求めている状況だ。

インカレロング大会を秋に開催するように学連内部で制度変更したときに、コラボレーション先として想定されていたのは、実は東日本大会や有クラブの JOA 公認 A 大会だった。

だがここ数年で状況は大きく変化した。JOA 公認 A 大会は殆ど開催されななところか、ロングディスタンス競技会の開催数すら激減した。そんな中、インカレロング大会は開催地を栃木、奈良、長野と転々として何とか開催を続けてきた。

そして今年のインカレロングは神奈川県。過去に何度かビッグ大会が開催されてきた箱根の山がその舞台となる。学生がその情熱をかけるに値する舞台が用意される。

この大会は一般大会も併設され、これが JOA 公認大会となる。そして「東日本大会」の名称が使われる。

永らく開催されていなかった東日本大会だが、この名前を聞くとかつての賑わった大会会場を思い出す人も多いことだろう。

(木村佳司)